

木津川市地域公共交通網形成計画記載事業の事業評価について

平成27年3月に策定した、木津川市地域公共交通網形成計画(以下「形成計画」という。)に基づく事業について、平成27年度における事業の実施状況、効果や課題等を検証するため、別紙のとおり評価シートを作成したうえで、来年度の事業を実施することとします。

【評価シートの記載項目】

1. 事業計画

形成計画で定めている6つの施策を記載

2. 事業主体

形成計画で事業毎に定めている事業主体を全て記載

3. 事業関係者

各事業に係る機関、事業者名を記載

4. 事業目標

形成計画で事業毎に定めている事業目標を全て記載

5. 事業内容

平成27年度中に実施した事業内容を記載

6. 課題と評価

平成27年度事業における主な取り組み成果、課題を地域公共交通の課題ごとに記載

■計画事業評価シート

事業計画	施策1 コミュニティバスの運行	
事業主体	木津川市	
事業関係者	奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社 東洋タクシー株式会社	
事業目標	年間利用者数 300,000人(平成31年度)	
事業内容	H27	<ul style="list-style-type: none"> ・木津地域においてコミュニティバスを運行 ・加茂地域においてコミュニティバスを運行 ・山城地域においてコミュニティバスを運行

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における 地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への 対応	<ul style="list-style-type: none"> ・木津川市コミュニティバスの運行を継続したことで、地域住民の移動手段を確保することが出来た。 ・平成27年度の利用者数は、平成28年2月末時点で、241,358人で、昨年と比較して、974人減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数については減少が続いており、利用促進策の充実が求められる。 ・現行の運行ルートが最適であるか、検討を継続していく必要がある。
人口構造の変化への対応		
予約型乗合タクシーの利用促進		
過度に自家用車に頼らない生活の提案		

事業計画	施策2 乗継利便性の向上	
事業主体	木津川市、奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社 東洋タクシー株式会社、木津川市地域公共交通総合連携協議会	
事業関係者	西日本旅客鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社	
事業目標	鉄道ダイヤ改正時に随時実施	
事業内容	H27	<p>【路線バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年4月1日付けで城山台循環線の運行を開始 平成28年3月19日付けダイヤ改正を実施 鉄道ダイヤとの乗継を考慮し、高の原駅～木津駅間や城山台循環バス等のダイヤ改正を実施した。 高の原駅発梅美台三丁目行最終便を増便した。 <p>【コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年3月19日付けダイヤ改正を実施 鉄道ダイヤとの乗継を考慮し、ダイヤ改正の検討を行った。 小学校への通学の利便性や、地域住民の交通の利便性を考慮し、かもバス及びやましろバスの一部でダイヤ改正等を実施した。

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における 地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への 対応	<p>・鉄道やバス同士の接続を考慮し 運行することで、広域的な移動 の利便性の確保や、バスの利用 促進を図ることができた。</p>	<p>・鉄道やコミュニティバス だけではなく、路線バス との接続も考慮する必要 がある。</p>
利用促進施策の展開		

事業計画	施策3 車両の利便性の向上	
事業主体	木津川市、奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社 東洋タクシー株式会社	
事業関係者		
事業目標	車両更新時に導入の検討	
事業内容	H27	【路線バス】 ・市内の路線バス運行を担当する平城営業所において、ノンステップバス（大型）3台を導入した。 【コミュニティバス】 ・車両更新状況を確認した。

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における 地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への 対応	・路線バス、コミュニティバスと も、車両の更新が必要なかった ため、実施しなかった。	・コミュニティバスの視認 性を高めるために車両更 新時にバリアフリー車両 の導入やラッピングを検 討する。
バリアフリー化の検討		

事業計画	施策4 情報提供の充実	
事業主体	奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社 東洋タクシー株式会社、木津川市地域公共交通総合連携協議会	
事業関係者	木津川市	
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通だより：月1回発行 ・時刻表：年1回発行 ・バス標柱デザインの検討：検討数 211箇所 ・交通結節点での情報提供：市内主要施設で実施 ・ホームページによる情報提供：ポータルサイト開設 	
事業内容	H27	<p>【路線バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良交通ホームページにおいて、バスの情報発信やバス案内システムの運用により、利便性の向上を図っている。 ・スマートフォン等のモバイル端末用アプリ「奈良バスなび」の適用エリアを木津川市内に拡大した。 <p>【コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通だよりを毎月発行した。 ・木津川市ホームページにおいて、継続して公共交通情報を発信した。 ・コミュニティバスや鉄道等のダイヤ改正に合わせて、時刻表を作成した。 ・新たな取組みとして観光アプリを導入し、利便性の向上を図った。

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における 地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通だよりを毎月発行し、利用状況、運行情報や沿線観光情報の掲載をすることで、公共交通利用の啓発ができた。 ・市ホームページにコミュニティバスの情報を掲載することで、市外の方への情報を発信することができた。 ・わかり易く利用しやすい時刻表を作成し、広報紙に折込み、全世帯に配布するほか、公共施設や観光施設に配架するなど一層の利用促進を図ることが出来た 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通だよりや市ホームページなどで情報発信、利用の啓発が出来ているものの、利用者数は昨年と比較して減少している。 今後、情報提供の内容などを見直し、直接的に利用者の増加に繋がる取組みが必要である。 また、今年度は特にかもバス当尾線の利用者が大幅に減少していることから、観光等の来訪者向けの利用
人口構造の変化への対応		
予約型乗合タクシーの利用促進		
利用促進施策の展開		
多くの媒体を通じたPR		
過度に自家用車に頼らない生活の提案		

観光施設でのPR	。	促進が重要である。
地域公共交通を守り育てる意識の醸成		

事業計画	施策5 利用機会の提供	
事業主体	奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社 東洋タクシー株式会社、木津川市地域公共交通総合連携協議会	
事業関係者	木津川市	
事業目標	乗り物体験学習：市内小学校で年1回実施 1日フリー乗車券の発行：年間2,000枚販売	
事業内容	H27	<p>【路線バス】</p> <p>【コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の小学校を対象とした乗り物体験学習（高の原小学校、相楽台小学校、相楽小学校）を実施した。 1日フリー乗車券の販売を継続した。

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における 地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への対応	<ul style="list-style-type: none"> 1日フリー乗車券を継続して販売することで、乗継利便性の維持、向上が図れた。 私立小学校での乗り物体験学習について、今年度は実施校数を3校に増加したことで、児童への公共交通の利用及びバス乗車時のマナーの啓発が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 1日フリー乗車券の販売枚数は、毎年増加しているものの、販売場所がわからないといった声もある。今後、販売場所への案内方法や新たな販売場所等の検討が必要である。 小学校での乗り物体験学習については、小学校数が増加しているが、実施内容は、毎年、同様に体験とマナー啓発のみである。他市の事例を参考にしながら、内容の充実を検討する必要がある。
人口構造の変化への対応		
予約型乗合タクシーの利用促進		
利用促進施策の展開		
多くの媒体を通じたPR		
過度に自家用車に頼らない生活の提案		
地域公共交通を守り育てる意識の醸成		

事業計画	施策6 市民意識の変革	
事業主体	奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社 東洋タクシー株式会社、木津川市地域公共交通総合連携協議会	
事業関係者	木津川市	
事業目標	ワークショップ座談会の開催：年1回	
事業内容	H27	【コミュニティバス】 ・運行事業者の乗務員によるワークショップを1回開催した。

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における 地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への 対応	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者の乗務員を対象としたワークショップを開催し、運行者の立場からの意見を聴取することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を聴取するだけでなく、意見を基に、実施可能な施策に取り組んで行く必要がある。
予約型乗合タクシーの利用促進		
利用促進施策の展開		
過度に自家用車に頼らない生活の提案		
地域公共交通を守り育てる意識の醸成		

事業計画	施策7 魅力の発信	
事業主体	奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社 東洋タクシー株式会社、木津川市地域公共交通総合連携協議会	
事業関係者	木津川市	
事業目標	・急行バスと連携したPR	
事業内容	H27	<p>【路線バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR奈良駅西口のりば名称を西口5番のりばから西口15番のりばに変更し、西口、東口でのりばを通し番号とした。 <p>【コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かもバス当尾線において、急行バスとの接続を考慮したダイヤによる運行を継続した。 ・当尾地域の寺社である浄瑠璃寺や岩船寺に案内板を設置し、急行バスと連携した地域内の回遊を案内している。

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における 地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・急行バスののりば番号を変更することで、利用者がバスに乗車する際のわかりやすさを向上することができた。 ・急行バスとの接続を図ることで、回遊性を高め、コミュニティバスと急行バスの利用の相乗効果を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かもバス当尾線の利用者は減少しており、急行バスとの連携したPRを強化する必要がある。
予約型乗合タクシーの利用促進		
利用促進施策の展開		
過度に自家用車に頼らない生活の提案		
地域公共交通を守り育てる意識の醸成		